長岡京市教育大綱

平成28年7月
長岡京市

長岡京市教育大綱

1. 基本理念 .....

長岡京市は、長岡京が所在したという希有な長い歴史と、それに裏付けられた伝統を有し、また西山をはじめとする豊かな緑があり、その恵まれた歴史と自然を最大限に活かした教育を実施していきます。長岡京市の教育は、憲法と教育基本法にのっとり、人間の尊厳を基盤として、確かな見通しを持ち主体的に生き抜く、創造性あふれる心豊かな人間の形成を目指すものです。

学校教育においては、

生涯にわたる学習の基盤を培い、知・徳・体の調和のとれた発達を図ることにより、真理を探究し、正義を愛し、個人の価値を尊び、勤労と責任を重んじ、国際感覚を身につけ、自主的精神に満ちた心身ともに健全な人間の育成に努めます。

社会教育においては、

多様化する社会の中で、基本的人権の尊重を基盤に、世代を超えて、住みつづけたいまちを創造する、意欲と実践力のある人間の育成に努めます。

これらを達成するため、社会の様々な教育機能を有機的に関連付け、生涯にわたって学び続けることができる学習環境を充実し、学校・家庭・地域社会の連携による教育の充実・向上（循環）を目指します。

長岡京市が考える教育の循環とは・・・

地域で生まれ、地域の学校で学び、大人になって地域を支えるという循環の成立が崩れつつある今日、「地域の教育力」「家庭の教育力」をどのように向上させるか、また学校と家庭、地域のつながり、そして社会全体とどのようにつながっていくかが重要なポイントになります。生涯学習・学校教育を包括する「学校の教育力」「地域の教育力」「家庭の教育力」を一体的にとらえて振興するため、「循環」ある教育の提供、教育環境の整備、連携の仕組みづくりに取り組みます。

☆大人から子どもへ

大人は、子どもたちが楽しく学び、遊び、また豊かな人間性を身につけられるよう、感動、思いやりの心を感じられる機会を少しでも多く得られるよう、協力します。そして、長岡京市の歴史・文化やコミュニティ活動の意義などを伝え、地域への誇り・愛着をはぐくんでいきます。

☆大人から大人へ

大人は、大人同士で交流や教え、学び合う機会を通して、仲間を作り、生きがいにつないでいくとともに、多忙でなかなか生涯学習活動に参加できない人が、可能な範囲で新しい出会いやつながりを見つけられるよう、協力・支援をすることで、地域に居場所を持つ人を増やしていきます。

☆子どもから子どもへ

子どもは、友達と一緒に遊びや学習などを多く経験できるようにすることで、協調性や互いを思いやり、尊重する気持ちはぐくむこととあわせ、地域に一生の財産となる友人のつながりをつくっていきます。

2. 教育施策の目標 .....

生きる力の育成

「すべての子どもに、自立した個人として成長し社会で生きていく基礎を育てる」

未来を生きる子どもたちすべてが、生きがいを見つけ、自分の居場所をみつけ、自己実現を図りながら地域を含む社会と関わることができる長岡京市にしていききたいと考えています。

生涯学習社会の実現

「市民一人ひとりが、生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現を目指す」

市民一人ひとりが自らのニーズに基づいて学習した成果を、地域の大人や子ども、そして、地域社会に還元する機会があり、その知識や技能、考え方などが広がっていくことで社会全体の持続的な教育力の向上が図れる長岡京市にしていききたいと考えています。

3. 施策展開において重視すること .....

(1) 子どもに身につけてほしい力

◆思考し、判断し、選択し、表現できる力

ゲーム機・パソコン・携帯電話の普及等によるコミュニケーション手段の変化、ローンやクレジットカードなど消費者として難しい判断が必要な事象の増加など、子どもたちを取り巻く社会環境は大きく変化しています。これからの社会は、これまで以上に様々な事象が著しく変化し、自分の意志で“選択”することが求められる機会が増えてくると予想されます。そのなかで、自分で自分を守る力を有することがきわめて大事なこととなります。

そのために、学校、家庭、地域、行政が協力しあいながら、本市の子どもたちが、変化の激しい社会の中で、しっかり思考し、判断する力、選択する力を高め、自分の思いをしっかり表現できる力を身につけてほしいと考えます。

◆豊かな人間性・社会性を身につける力

都市化、家族形態の変容、価値観やライフスタイルの多様化等を背景とした地域社会等のつながりや支え合いの希薄化した社会状況は、子どもたちの成長に大きな影響を与えています。近年の各種調査では、子どもたちの自尊感情の低さや、将来に対する期待感の薄さ等が指摘されています。

子どもたちが自分に自信を持ち、存在意義を確認できることはとても大切なこ

とです。挨拶やマナーを身につけることで人との関わり方を学び、人として変わらなく大切にしないといけないことをしっかり理解し、他人との信頼関係を築くことができます。

生命を大切に作る心、自他を尊重する心をはぐくむとともに、人とつながり、共同作業をするために必要な社会性やコミュニケーション能力を高めてほしいと考えます。

◆健やかな心身と生活習慣を実現する力

子ども時代に身につけたよき生活習慣は、身体の健やかな成長をはぐくむとともに、自らを律する意識づくりにつながり、生涯を通じた健やかな心身の育成に大きく影響する要素の一つです。一方、発達段階が進むにつれて子どもの関心の対象や行動範囲が広がり、生活のバランスが崩れる可能性も増えていきます。生活のバランスを保ちつつ新しい可能性にチャレンジすることができるように、しっかりとした生活習慣を身につけることが必要であり、それには就学前の時期からの積み重ねが重要です。

生涯にわたって健やかな心身をはぐくみ、様々な関心事に積極的にチャレンジする人となる基礎をつくるために、よき生活習慣を身につけてほしいと考えます。

(2) 各主体(学校、家庭、地域、行政)に期待される役割

対象	ア 学校の役割	イ 家庭(親)の役割	ウ 地域社会(大人)の役割
学校 子ども には	子どもたちへの教育の基盤となる。集団生活の場を通して、社会性・協調性をはぐくむ。 ・様々な学習活動 ・クラブ活動 ・部活動	充実した学校生活を送るために、子どもの生活習慣をより良いものにする。 ・早寝、早起き、朝ご飯、家庭学習の習慣化 学習活動及び学校行事に協力する。 ・PTA活動	学習の成果を活かした学校支援を行う。 ・学校支援地域本部 ・部活動支援 子どもたちの活動拠点(居場所)で多様な学びや体験の場を提供する。 ・すくすく教室
家庭 には	より良い生活習慣の定着を支援する。 ・家庭学習の手引	子どもの成長を見守り、社会規範やルールなど、子どもが生きていくために必要なしつけを愛情を持って行う。	子育て、親育ちを地域全体で支援する。 ・青少年健全育成推進
地域社会 大人 には	地域の生涯学習活動に協力する。 ・教室、体育館、グラウンドの開放	子どもとともに地域活動に協力する。 ・子供会活動・行事 ・ボランティア活動	学び合う地域・子どもをはぐくむ地域づくりを推進する。 ・地域コミュニティの醸成

行政による支援・下支え

対象	行政の役割 (上の表のア・イ・ウに対応)
ア 学校には	より良い教育環境を創設・維持する。 ・施設の改修及び備品の更新 教員が子どもと向き合う時間を確保する。 ・学習支援員の導入 ・校務の効率化及び事務の簡素化
イ 家庭(親)には	子どもが安心して就学できるように努める。 ・就学援助制度
ウ 地域社会 (大人)には	学習、スポーツ、文化芸術活動の環境を創設・維持する。 ・社会教育施設及びコミュニティセンターの整備 ・生涯学習の情報提供